

[ご意見 19]

先ほどHPにおいて、残念なお知らせを目にしました。
審議会の皆様には、
契約前に違約金の発生する理由
ならびに
「BSA案」の検討却下の理由
を説明していただきたく、よろしくお願い致します。

[ご意見 20]

タスクフォースの皆様

本日の機関決定の記述を見て、このやり場のない思いはどうしたらよいのか、途方にくれています。何の手助けもできない私ですら、このような気持ちになるのに、この数ヶ月、身を粉にして学校を守るためにご尽力くださっているタスクフォースの方々のお気持ちを考えると、本当に、言葉になりません。このような機関決定ができる、審議会理事の方々の会社を調べて、このような方々がトップにたつような会社には、将来絶対就職してはならないと、子供にいいきかせようと思います。子供たちや、父兄の切実な思いを、どのようなフィルターにかけたら、あのような解釈ができるのか、ご説明願いたいものです。審議会の方々には、先日、保護者に対して説明会をおこなっていただきましたが、今度は、できることなら、子供たちの前で、「自分たちはこれから、このすばらしい学校を他の学校に売って、これからは、この学校は日本人学校のものではなくなり、8年後にはここを出て行かなければいけない」ということを、子供たちの納得のいくように説明してもらいたいものです。純粋に学校を愛し、勉学に励んでいる子供たちのまっすぐな目を見ながら、胸をはって、そんなことが言えるのなら、言って貰いたいものです。私たちは、これから子供たちに、どうやって、自分たちの愛する学校がなくなっていくのを指をくわえて見ていかなければならないのかを、説明すればよいのでしょうか。これから、相手校との契約までに、まだ、もし、売却をとめる手立てがあるのなら、どうか、その可能性を信じさせてもらいたいです。感情的な文章になってしまいましたが、私は、まだ、あきらめたくありません。タスクフォースの皆様のお力を信じています。どうか、頑張ってください。

[ご意見 21]

本日の審議会の満場一致の機関決定には本当に怒りを抑えることが出来ません。BSA案については、どのような考えで検討する余地もないと言えるのでしょうか？ 一体この日本人学校とは、誰のためのものなのでしょうか？ 理事の方々は、何のために理事の職についてらっしゃるのでしょうか。子供達の前で堂々とこのような偽善が行われ、私達はこれを子供達にどう説明すればよいのでしょうか。私はこのような理不尽な審議会の学校運営に屈することは出来ません。あの方々の誠意は、私にはまったく伝わってきません。現在の状況は、アメリカが独立戦争に至った経緯にとっても似ています。私達も、子供達のためにこれからの学校を築いていかなければなりません。いけないことにはいけないときちんと発言できる子供を育てたいと思います。勇気のある子供を育てたいと思います。いずれは、わたしたちの一つ一つの選択が、結局自分にふりかかってくるのです。今このような審議会の存在自体が問われるべきなのだと思います。保護者の一人一人が大きな岐路に立たされています。Kennedyの”Ask not for

what your country can do for you—ask what you can do for your country”は私達にもあては
まります。